日刊
磐城日日

發行所
株式會社 磐城日日新聞社
福島縣小名浜町[illegible]51
電話 219番
振替口座仙台31355番
編集人 高瀬霞
印刷發行人 長瀬芳郎

第五次運動方針決定

日素労働組合大會

來春縣會と町村會に出馬

小名濱日本水素工業労働組合では去る二十四日午前九時より全工場講堂に於て第三十六回定期大會を開催、第五次運動方針、組合規約の一部改訂、其他左記の通り討議決定し午后二時終了した

一、第五次運動方針の決定

第四次運動方針の具体的行動を再確認し次の諸項目を以て當面の運動方針とし實現解決を計る

①生活權の擁護

イ、首切反對のため當面の問題として、レッド・パージには絶体反對する、これがため赤色追放にからむ情勢の把握と其性格を啓蒙し、最惡の場合は同志愛から犠牲者扶助規定の適用を考慮する

ロ、實質賃金の確保 地方税は今後一切會社負担とするか又は地方税に代るべきものを生活費として要求する

ハ、今期越冬に必要なる諸物資を獲得

ニ、厚生福利施設の擴充又は廉賣制を以て生活の安定を圖る

ホ、直傭工の給與改善

二、地方選擧について

縣會又は小名濱町會（少くなくとも三名）泉村会（一名）に對し吾々の代表である人物を送るべく準備する

三、勞働戦線の統一

現在硫労連で總評（全國労働組合總評議会）加盟をめぐり問題が大きくなつているが産報的性格を持つている總評である限り絶体賛意を表しない、それよりも先ず硫労連を再強化し當面の斗爭に凡てを結集する

一校PTA定例評議員會

小名濱第一小學校PTA定例評議員會は二十五日午後一時より應接室に於て開催各部門の打合後、去る七日丹洋品店寫眞部が撮影した秋季大運動會の實況（天然色）の試寫會を催した

江名で母親學級

社會教育と教養のため

江名町役場では明二十七日午前十時より第一小学校に於て、社會教育と母親の教養を高める爲に新たな試みとして第一回「母親学級」を開催する事になつた 尚講師は縣教育委員會石城出張所長、高木教育委員その他となつている

これについて江名町役場社會課では第一回の試みであり多數聴講を希望しているが尚社會教育振興の上に大いに役立つので今後共長く繼續すると共にPTA民生委員、永崎方面にも呼びかけ大々的に普及したい考えでいると語つている

人口統計きまる

湯本、内郷、磐崎、好間

十月一日に施行した國勢調査によると湯本、内郷、磐崎、好間の各町村人口統計は次の通りである

	世帯數	男	女	計
湯本町	五、六五一	一四、四二〇	一三、九四三	二八、三六三
内郷町	七、五六三	一八、五四二	一八、五四〇	三七、〇八二
磐崎村	二、一六五	五、七四七	五、六四八	一一、三九五
好間村	四、三七七	一一、二三五	一〇、九二一	二二、一五六

縣教委の演劇大會開催

縣教委主催の演劇コンクールは縣下労働團体文化團体學校等の参加の下に十一月十七、十八の兩日、福島市開新座で行う

常磐炭礦でも演劇コンクールに参加を決定し目下同礦製作所の小宝正余志氏原作「人間創生」を出演することになり猛練習中

泉村協議會

泉村村會では本日緊急議會を開き竣工近き中学校の落成準備資金等につき協議する 尚新制中学校落成予定は十一月中旬

教務主任の教育視察

石城郡第二區（小名浜方部―小名濱、泉、江名、鹿島、湯本方部―湯本、磐崎、渡邊）の小中學校教務主任二十名は教育視察のため二十四日夜出発したが小名浜より山口一郎（中學校）小松藤治郎（第一小学校）小浜常司（第二小學校）門井保（第三小學校）の諸氏が参加した、視察日程は次の通り

二十五日 静岡縣伊東小学校
二十六日 神奈川縣小田原中學校
二十七日 東京都櫻田小學校
東京都愛宕中學校

ピニロン工場誘致運動を裸にする（二）

革新民主同盟委員長
日本社会黨小名浜支部長 小野幸次郎

三、用水關係

用水関係だけは明細に書いてあるが大略すると鮫川の用水路と取入量と分水状況であるが

▲取入量九七個（毎秒二、七立方米）

内譯＝灌漑用水七〇個、小名濱町上水道三、六個、日本水素一五個、常磐炭礦上水道八、四個

以上鮫川普通用水路の流量使用は灌漑時間（毎年六、七、八の三ケ月）に於ては略飽和の現状であるが右期間を除いては全面的にこれを利用できるものである

小名濱上水道分水に於ける流量は三三、六個でその内譯は左の通りである

灌漑用水一五個、小名濱上水道三、六個、日本水素一五個

今この用水路の途中渡邊村大字上釜戸地内に簡單なるダムを設けて不用期間中の灌漑用水を貯水することが出來れば、これを灌漑時期に增流することが出來れば年間を通じこの一五個の水は容易に利用することが出來る

注（これが工業用水關係の全部である、ピニロン日産三〇屯とすると水は一日三〇個を必要とする）

四 日本水素工業株式會社關係

▲生産額

硫酸四三、六〇四屯、硫酸アンモニヤ五四、五三三屯、メタノール二、〇五八屯、液体アンモニヤ一四、八一七屯

將來の計畫

▲現在の觸媒法による外、電解法による硫安製造を計畫

▲硫燐岩の製造

▲メタノール製造により誘導される各種藥品製造

五、電力關係

政府に於て既に計画済の日平十五万ボルト線は昭和二十五年度に建設を完了する事となつて居りその變電所は土地の関係上小名浜町に最も近き湯本町關船が予定されて居る

これは第一次八万キロワットの電力を送電するもので当地方は福島縣の使用電力の大部分を使用出來る事となるのである、現在石城郡下の使用電力は六万キロワットである

更に目下政府に於て計畫中の只見川電源開發と相俟ち小名浜港の活用上本町を工業都市化するため電力供給の事情は益々好轉する狀況である

（これが小名浜町のピニロン工場立地調べの全部である）

それでは工場設備費にだけ六十億の巨費を要する工場がどんな立地條件を必要とするか説明する

一、工場建設企畫 日産三〇屯工場

二、工場敷地二〇萬坪

三、勞務者五〇〇人

四、主なる原料の必要量

▲石灰石三百屯、▲石炭六百屯、▲苛性ソーダ三十屯▲硫酸四十五屯、▲メタノール三十屯、▲電力四万―六万KW、▲工業用水三十個、▲他に重要條件として一日六百屯の石炭ガラの捨場、▲運輸關係の便、これ等の諸條件を考慮せず誘致運動のため立地條件の計画を立てゝも小名濱町に立地調書のようなものしか出來ないのである

これに對する原の町の工場立地條件はどうか縣の調査とピニロン工場の調査によると

六、工場敷地等の條件

一、工場敷地 原の町駅裏帝金工場跡

二、数地面積 帝金工場跡八万坪及附近原野耕地帯併せ二十三萬坪

三、工場敷地條件 （石炭殻捨場）新田川改修により同敷地内に約五十年間捨場とする場所がある

四、石炭等諸原料製品の輸送の便 同敷地は原の町駅裏に位し引込線の必要なく常磐線〝平〟に直結し輸送に最適

五、石灰石 （後述）

六、風土氣候 氣候は神戸附近に類似し農作物豊富人心も純朴

七、電力 日発が本工場建設を歓迎し發電、送電の工費は會社で負擔し六萬KWの電力の供給を保證している

八、地元民の協力 原の町の人口二万、地元縣議、町当局を始め全町民あげて誘致に協力、同工場を誘致した場合の都市計畫を樹立受入に万全の策を取つている

―△ ▽―

人事消息

出生

小名浜町字新川北五六 鈴尾文吾（三〇）氏長男信一さん以上（十四日）

小名濱町字下明神町四 橋本渡（三〇）氏長女啓子さん、小名濱町字上町七五 坂本源太郎（三八）氏二男源次郎さん以上（十九日）

死亡

小名濱町大字野田字カキツカ三八 永久保榮造（九一）氏、小名浜大字林城字作入一一〇 永井カツミ（四一）さん以上（二十三日）

講演と俳句大會

〝文化の日〟に小名濱で開催

小名濱俳句作家懇話會『麥』小名濱支部では特に文化の日（十一月三日）を選んで日本女子大教師、明大、立正大、跡見學園大講師、日本文學協會中央委員、現代俳句協會幹部で俳句誌『麥』を主宰している中島斌雄氏を迎え講演會並に俳句大會を左記のスケジュールで開催することになつた

◉十一月三日（金・文化の日）

▽俳句大会
時間―午後三時ヨリ午後五時迄
会場―小名濱町横町 會田醫院
會費―参拾圓
兼題―當季雜詠三句、當日持參
講評―當日作品批評 中島斌雄氏
主催―日本水素文化部
後援―小名濱俳句作家懇話會

▽講演会
時間―午後六時ヨリ八時迄
會場―會田醫院
演題―近代俳諧史。現代俳句の動向 中島斌雄氏
入場無料

◉十一月四日（土）

▽講演会
時間―午前十一時半ヨリ約一時間
会場―日本水素労働組合事務所
演題―美に就いて 野澤隅火氏
生活と文藝 中島斌雄氏

▽講演会
時間―午後二時ヨリ三時迄
会場―小名濱町第一小學校講堂
演題―女性の教養と文學 中島斌雄氏
主催―小名濱町教育會
後援―小名濱社會教育委員會
入場無料

▽俳句実作指導
時間―午後五時ヨリ八時迄
場所―日本水素倶樂部
会費―貮拾圓程度
俳句の作り方味い方質疑應答 中島斌雄氏
入場は日本水素従業員並に関係者に限る

第三種郵便物認可 昭和25年（1950）10月26日（木曜日） 磐城日日新聞 新聞定價一ヶ月50圓 一部賣2圓【月曜休刊】 （第64号）

黒い山脈脈脈を解消

常磐炭礦貨車繰好轉

常磐炭礦では兼ねて悩みの種であつた貯炭が配車の都合で現在迄三萬五千トンに上り、この黒い山脈の貯炭解決が經營合理面にもつとも重大なる所以であるが常磐炭礦が目下の緊急問題であつた貨車の廻送も二十三日から實施の運びとなつた一編成車四十車を以て「六百九十二トンづつ積出し大体二十日位の予定で之が現在の配車に倍加されるので、黒い山脈も一應解消され明るい常磐の築かれるのも近き將來でこれに對し常磐輸送課長は次のように語つた

常磐輸送課長談

湯本、內郷—東京隅田川貯炭場間の直通列車が認められた、積出しも突貫作業で行うため本日の部課長会議で検討する

ビスケット生産低下

桑原工場 委託加工に重点

昨年當りまで時代の脚光を浴びて活躍してゐた江名町桑原製菓株式會社を二十四日午後訪問したところ折惡しく會社が休みであつたが藤枝工場長は心良く記者を二階の事務室に案內して、次のように工場の現狀を語つた

今迄はすべての物が規格統制であつたので當工場も一日操業二屯原料にして約八十俵（一俵二二瓩）を製造して居たが最近の自由經濟の再興期にあつては從前通り製造する事も出來なくなつたので專ら委託加工に重点を置き近隣の炭礦（常磐、好間）方面からの注文があるのみで非常に原料に不足を來してゐる操業日数は大体一ヶ月二十日位のものである第一の問題は原料不足と同時に設備の大きい事であり之に伴つて土地の問題もかなり重要なものがある大体このビスケット工場は本縣に二ケ所東北地方では七ケ所に工場があるが当會社は設備の大きい事は日本でも一、二を争つているこの工場は昭和廿一年に出來たもので主に幼兒食（ビスケット）を作つて居たが最近食糧事情がかん和されたので仲々思うようではない然し今後は委託加工に重点を置き完全学校兒童給食に對しても出來るだけ榮養分のある製品を供給したいと思つていると榮養分析表を提示して説明してくれたが小麥粉百に對して煉乳九、七油脂五、〇全脂粉乳七二、〇加糖粉乳六、〇食塩〇、六砂糖二五重曹〇、五炭酸アンモニア二、〇以上の榮養分が含まれてゐるそうである なお藤枝工場長は自由經濟が活發になつて購買力が増大すれば以前のような活躍が出來ると自信滿々たる見通しを強調した

花街を移轉せよ

H素駅前 松本保夫

我が町內には花柳街が分散して教育上は勿論社會的には弊害があつて困ると云う世論が街に起つて居るが筆者はPTAの役員として教育上から急速に移轉方を望む

今日迄、色々の社會問題が新聞紙上を賑わしているが過日は小學生の暴行事件があつた然もその中には高等學校の生徒も混つて居た事を見て彼等一味の反省を促すと同事に此度かゝる問題を二度と繰返す事は社會の罪と考えてこれが防止に關し町民は勿論父兄の協力をお願いする

青少年の犯罪発生の原因は社會的腐敗も一因であるがそれ以外に見逃してはいけないことがある、それは世論の大勢が花街の分散による環境の刺戟が根源をなしているということに歸着している、しかるに当町は各地區に亘つて花柳街が散在している関係上、その環境による好奇心につられて、ついに小學生の暴行事件迄発展したがその他の社会問題も惹起し、或いは誘発する傾向が屢々ある事を予期しなければならない、我々は青少年の不良化を未然に防止するため躍起になつているにも拘らず最近のような不祥事件を発生した事は町民の一人として遺憾に思つている

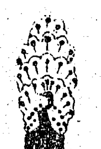
世の父兄は兒童の爲晝夜の別無く労働し立派な教育を受けさせ、再建日本の基盤となる國民の一人として役立つよう育成している反面かゝる事件に卷き込まれることをおそれている、勿論、青少年の犯罪の裏には家庭や父兄にも責任はあるが此の際、社會人もまた反省の必要があるので筆者は罪惡の温床ともなる花街の急速なる移轉を念願しているが、その候補地として現在、話題となつている諏訪神社を中心とした地域を當局に希望したい

大都市の例を見ると花街はたいていメンストリーとより隔離されている平市、鎌田、東京などはその適例であるが吉原は江戸時代から關東大震災迄川の對岸にあつたが深川の洲崎も同様である、京都の加茂川の附近も川を境として一かくに集中しているので弊害は少ない

諏訪神社附近も同じ環境に惠まれて好い條件であるので筆者は特に選んだわけである、現在自由労組の汗の結晶によつて小名川は改修され築堤も完成しつつあるので櫻並木と共に風貌を一變して見違える程綺麗になるのも間近である加茂川の水程綺麗ではないが、東京の隅田公園の様に兩側に植樹したら近き將來は公園として小名浜の風物に一点景を添えることにもなるがこうした蔭には自由労組の熱と力の苦労を忘れてはならない

花柳街には必ず神社がつきものであるが萬一筆者の提唱する土地が選定されたら諏訪様が縁結びの神様にならぬとも限らぬので姐さん達には惠まれた場所とも云えよう大小名濱の發展と共に青少年に悪影響を及ぼす花街を一日も早く移轉して純潔な雰圍氣を助長し不健全な社會問題を一掃する様町民の協力を切望する

（筆者は小名浜第二小學校PTA副會長）



空巣狙いを スピード検擧

湯本町淺貝四十大工若松茂（二九）同佐藤朝次（二六）の兩名は去る二十三日午後六時四十分頃淺貝採炭夫菅野守雄さん宅に家人の留守中侵入六疊間の押入及簞笥より洋服外四十一点（時價二万五千圓相當）を窃取、同日午後十時頃淺貝地內鈴木飯場で湯本町署桑原巡査にスピード検擧された

ゴミ掃除からブタ箱に

平市六丁目二番地露店業草野一郎（三八）及び湯本町字三函二四八瀧田實（二六）の兩名は去る七日行われた小名浜町第一小學校の運動會のとき、會場の掃除代だと稱して三十四名より二十圓宛徴收その內三百六十円を學校に寄附し殘金を横領したことが判明したので、この程小名濱署に逮捕された

ブランコ往生二態

老軀に迫る娑婆の風

湯本町水之谷瀧ヶ澤社宅四六號ノ四無職、松本安次郎さん（七四）は二十四日午后四時頃、同地內山林でい死した原因は長男竹治さんの妻と不和のため

內郷町宮峰根無職鈴木忠衞門さん（六四）は二十四日午前七時頃、自宅裏の柿の木でい死した原因は生活苦から

小名浜分室で容器検査

平保健所小名浜分室では來る三十日食品衞生法の重要性に鑑み魚介類行商の容器検査を行う事になつた場所は魚市場前、午前十時より午後二時迄なお江名は三十一日豊間は十一月一日実施する

日本水素で音樂祭開催

小名浜の日本水素では去る二十五日午前十一時及午後六時の二回全工場講堂に於て、ソ聯飯還者樂團三十二名を迎え音樂祭を開催した同樂團は今春芝のスポーツセンターに於て無慮三万五千の聽衆を感激と昂奮のるつぼに卷き込み一躍民衆藝術の花形としてデビューしたものでけんらん多彩な歌と踊の數々を演じて從業員と其家族に深い感銘を與えた

時刻改正を考慮

二二三列車に吉報

泉驛長談

八月一日列車運轉時刻改正以來上り二二三列車泉駅発八時三十五分の通勤列車に種々の不便を來してゐた泉駅ではこの程、水戸管理局及北関東營業事務所に陳情してゐたが列車運轉時刻一部改正につき出來得る限り考慮する旨の回答があつたと泉驛長は語つてゐる之は去る八月一日列車運轉時刻改正以來小名浜方面に通勤してゐる各学校の生徒及教員、各工場各官廳等に勤務するものの為に關係方面に接渉し再三陳情してゐたものである

共立病院の準備完了す

開業準備促進委員を選任して準備中の磐城共立病院は第一期內部塗装を完成し醫員、看護婦事務長以下の人事も決定予定通り十一月一日待望の開業をする

サンマ速報

〔旭日丸〕釜石附近にて烏賊釣漁僅か〔第二大定丸〕南丘寄りに調査しつつ小名浜向け歸途につく〔第七松丸〕濃厚なる群見るも見込なく南下中このまま小名浜向け歸途につくやも知れず〔嘉宝丸〕群なく操業せず小名浜向け歸途につく〔勇丸〕小名浜向け歸港中漁皆無

25日

【小名浜青果市場】

白菜	一五—三五圓
胡瓜	一〇〇—一一〇圓
人参	五〇—九〇圓
里芋	四〇—四五圓
さつま芋	二七—三〇圓
へらな	七—一〇圓
葱	四七—五〇圓
茄子	一五圓
キャベツ	五〇圓
午蒡	九五圓
玉葱	四五圓
柿（一箱）	六〇〇圓
ぶどう	七〇〇圓
梨	四〇〇圓
りんご	七五〇—七七〇圓
みかん（一箱）	五五〇圓
卵	一二、五〇錢

【小名浜魚市場】

秋刀魚	一三五—一六〇圓
鮭	七五〇圓
鯵	大 三五〇圓
	小 一五〇圓
鰹	二五〇—二八〇圓
烏賊	一一〇圓
蝦	五〇〇—七〇〇圓
そーだ鰹	二四〇圓
いなだ	四〇〇圓

（江名魚市場）

秋刀魚	一五〇—一五五圓
とうじん	四五—五〇圓
たこ	三〇—四〇圓
どんこ	七〇—八〇圓

天氣豫報

【今日】北寄りの風よい天氣ですが薄雲が多いでしょう【明日】晴のち曇りになりましよう【海上】大体穏やかな方でしょう

小名浜港
1コップスタンド
カフエー
憩
IKOI
郵便横丁ヲ横ニ入ル

土木建築
設計施行
石材
コンクリ砂
砂利販賣
大友工務店
大友孝之進
事務所 小名濱町中町境四九
電話九八番

カメラを持つてハイキングへ
カメラ 材料 現像
燒付 引伸 修理
仕上りは優美
伊勢丹洋品店
カメラ部
小名濱町古湊三
電話四〇四番

体質に合つた排虫率のよい
各種虫下し 是非一度お試し下さい
新薬 注射藥 榮養劑
長生堂藥局
小名浜町中島通り 電三七〇

亡父榮壽院勳功積德禪居士儀告別式に際しては御鄭重なる御香奠を辱うし且つ遠路態々御會葬下され御懇情深く感謝致します
混雜中御尊名御伺い洩れもあるかと存じますので略儀ながら紙上を以て謹んで御禮申上げます
昭和二十五年十月二十五日
石城郡小名浜町大字野田
喪主 永久保作馬
親戚總代 丹野作平